

科目責任者 紀 愛子

■教育目的

この授業では、生命や身体、性に関する様々な問題を、社会的に考察するための基礎を学びます。特に、近年日本でもよく耳にするようになった「優生思想」に着目し、そもそも優生学とは何なのか、それはどのような発展を遂げ、私たちの社会や生活にどのような影響を及ぼしているのかを考えていきたいと思います。優生問題は、遺伝子技術や出生前診断、安楽死/尊厳死など、現代の医療や生殖をめぐる様々なテーマにも関わっています。優生思想の発展と諸相を学ぶことで、私たちの生命の在り方について、一緒に考えてみましょう。

■学習到達目標

1. 社会学の基礎を理解すること。
2. 現代社会を取り巻く問題を批判的に考察する力を養うこと。
3. 生命や身体、性をめぐる諸問題に関する基礎知識を身につけること。
4. 小課題やレポートの作成により、論述の力を養うこと。

■準備学習（予習・復習）

予習：テーマに関連したニュースや記事をインターネットで検索し、目を通しておく。(15分程度)

復習：講義資料を復習する。講義内で紹介した文献や資料を読む(30分)。

■授業形態

講義

■授業内容

No.	項目	授業内容	SBOコード
1	イントロダクション	社会学とは / 現代社会のなかの社会学 / 講義に関する説明	
2	優生学の歴史	優生学とは / 「遺伝」と優生学	
3	//	各国の優生学の歴史	
4	//	ドイツにおける優生学の広がり	
5	国家と個人の生 / 性	政策としての優生学—人口政策と断種	
6	//	ナチ・ドイツにおける強制断種政策	
7	//	医学の犯罪—ナチ・ドイツにおける「安楽死」	
8	//	国家と医療の関係	
9	身体と生命	生命の価値づけと安楽死/尊厳死	
10	//	人工妊娠中絶と墮胎罪	
11	//	出生前診断をめぐる諸問題	
12	//	遺伝子技術の歴史と発展	
13	//	生殖とジェンダーの問題	
14	//	生権力と生政治	
15	全体のまとめ	現代社会を生きる視点	

■授業分担者

紀 愛子(No. 1～15)

■課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

フィードバック方法：

1. 小課題：受講者からの回答を紹介しながら、講義内で総評を行う。2. 期末レポート：随時、個別に相談や質問に応じる。

評価方法： 全3回の小課題 45% + 期末レポート 55%による総合評価。

■教科書

教科書は使用しません。

■参考書

講義内で、各回のテーマに関する参考文献を紹介します。